



「ホッケーのまちTOKAI」 を推進しています！

村では、ホッケーをより身近に感じてもらい、多くの皆さんに楽しんでもらえるよう、「ホッケーのまちTOKAI」を掲げ、取り組みを推進しています。

【問い合わせ】生涯学習課文化芸術・スポーツ推進担当(歴史と未来の交流館内 ☎287-0851)



東海村とホッケーとの関わり



東海村とホッケーとの関わりは、昭和34年に日本原子力研究所にホッケーチームが創設されたことに始まります。その後、東海中学校にホッケー部が、また複数の小学校にホッケースポーツ少年団が相次いで創部・創設されました。実は、昭和49年に茨城県で開催された第29回国民体育大会「水と緑のまごころ国体」で、東海村がホッケー競技の開催地になる以前から活動が始まっていたのです。

また、県立東海高等学校や社会人チームにおいてもホッケー競技が行われており、後に日本代表となるような優秀な選手を複数輩出するなど、東海村は茨城県におけるホッケー競技の中心地としての役割を果たしており、ホッケーとの関わりは実に半世紀以上の歴史を有しています。

茨城県で開催された2度の国体において、東海村がホッケー競技の開催地に選定された要因のひとつには、このような活動が評価されたということもあるのではないのでしょうか。

東海村ホッケーニュース

東海中学校・東海南中学校・県立東海高等学校の各ホッケー部をはじめ、スポーツ少年団、男女社会人チームなど、さまざまな団体が精力的に活動しています。

- 東海村を拠点とする社会人男子ホッケーチーム「茨城HC」は、関東社会人リーグの1部リーグで活動しています。今シーズンも1部残留を決めるなど、健闘しました。
- 東海中学校、東海南中学校のホッケー部員で構成した茨城県代表チームが、令和6年11月に福井県で開催された「全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会」に初出場。全国の強豪を相手に、はつらつとした戦いぶりを見せてくれました。
- 公益社団法人日本ホッケー協会が、国際的な活躍が期待される選手の発掘・育成を目指す「U12ホッケードリームキャンプ」には、近年、東海村の少年団に在籍している小学生が複数名選出されています。今後のさらなる活躍が期待されるようです。



Enjoy!ホッケー

村では、初心者の方でも参加できるホッケークリニックやジュニアホッケースクールの開催、ネオホッケー(より安全で遊びやすいホッケー)の普及などに取り組んでいます。また、県立東海高等学校で開催されている「茨城HC」の公式戦はどなたでも観戦できます。ぜひ、会場に足を運んでいただき、迫力あるプレーをお楽しみください。

